全苗連だより

Ｖｏｌ．１５７（９月号）
令和８年９月７日
発行：全国山林種苗協同組合連合会
Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

令和９年度林野庁予算概算要求が提出される（速報）

予算の重点事項のテーマは『百年つづく「森の国・木の街」の礎の確立』

林野庁は8月 31 日に、令和9年度予算概算要求を財務省へ提出しましたので、その概要をお伝えします。

令和 9 年度林野庁予算概算要求の概要：林野庁

令和9年度林野関係予算の重点事項のテーマは**『百年つづく「森の国・木の街」の礎の確立』**となっており、次の項目が掲げられています。

○ 林業・木材産業分野における成長産業化に向けた取組の加速化

① 「森の国・木の街」創造連携イニシアティブ事業

② 林業適地における路網整備・**再造林等の推進**＜公共＞

③ スマート林業等新技術推進総合対策

④ 花粉の少ない苗木の生産拡大

・**細胞増殖技術を活用した苗木大量増産技術の開発**、**官民一体となった苗木増産体制の強化**、**花粉の少ない苗木の広域流通等を支援**

○ 森林資源の循環利用の推進

① 森林循環利用・付加価値創出対策

・森林の集積・集約化や森林境界の明確化、林業適地における路網の整備と再造林の省力・低コスト化等を支援

② 森と木の人材育成・確保総合対策

・「緑の雇用」事業による新規就業者への体系的な研修、林業大学校で学ぶ就業前の者への給付金給付等

③ 森林の総合保全対策

・効果的・効率的なシカ捕獲の取組や、森林病害虫による被害の抑制等の 森林の総合的な保全対策を推進

④ 花粉症解決に向けた総合対策

・スギ人工林の伐採・植替え等の加速化、スギ材需要の拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保、花粉飛散量の予測・飛散防止、スギ花粉米の実用化に向けた安全性・有効性の検証等の取組を推進

○ 国民の安全・安心を根底から支える多様で健全な森林づくりの推進

① 森林整備事業＜公共＞

・森林吸収源の機能強化や国土保全に資する、森林の集積・集約化に向けた間伐、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良、林野火災対策 、クマ・シカ等対策、花粉発生源対策としてのスギ人工林の伐採・植替えや路網の整備等を推進

② 治山事業＜公共＞

○ 鳥獣被害防止対策等

それでは、種苗関連施策に絞って見てみます。

森林集約・循環利用対策のうち循環型資源基盤強化対策のうちコンテナ苗生産基盤施設等整備については生産性向上でも事業採択できるよう拡充要求しています。

また、優良種苗生産推進対策のうち苗木生産技術の向上については R8 より増額要求としており、外国人材の活用に向けた取組について拡充要求しています。

なお、9 月中に都道府県に向けて 2 回目の要望調査が実施される予定です。

(参考)概算要求のポイントとしては、次のとおりです。

※【】内は「R9 概算要求 PR 版_種苗関係」の該当ページ

○森林集約・循環利用対策【p1】

・循環型資源基盤整備強化対策(拡充)【p2】

コンテナ苗生産基盤施設等の整備(拡充)【p3】

⇒ 支援内容は R8 同様の施設等整備に加え、生産性向上でも採択できるよう要件追加(拡充)

・優良種苗生産推進対策(拡充)【p4】

③苗木生産技術・生産性の向上等

⇒ 支援内容は R8同様の研修会等の実施に加え、外国人材の活用に向けた取組について追加(拡充)【p5】

○花粉の少ない森林への転換促進総合対策(新規)【p6】

うち花粉の少ない苗木の生産拡大【p7】

3. 民間事業者による苗木増産の支援

⇒ R7 補同様、花粉の少ない苗木の生産力の増大に応じ補助率を変動する仕組み

5. 増産苗木広域流通等の支援

⇒ R7 補同様、苗木の安定供給を図るため需給協議会の運営や広域流通を促進する取組を支援

【参考資料1】森林集約・循環利用対策【p1】

森林循環利用・付加価値創出対策のうち

森林集約・循環利用対策

令和９年度予算概算要求額　18,551,807千円（前年度 9,227,997千円）の内数

＜対策のポイント＞
「森の国・木の街」の実現に向けて、林業の生産基盤である路網の整備、再造林の省力・低コスト化、先進的な林業機械の導入等を支援するとともに、集積・集約化、木材需要の拡大や木材産業の基盤強化に資する木造公共建築物、木材加工流通施設等の整備、優良種苗生産、広葉樹活用等の取組を支援します。

＜事業の内容＞

1．森林集約・循環利用対策交付金
循環型林業の推進に向け、**路網整備、再造林の省力・低コスト化等**の取組を一体的に支援するとともに、**森林の集積・集約化に資する地域活動**や**先進的な林業機械等の導入、林業経営体の新規参入**等を支援します。また、木材需要の拡大及び木材産業の基盤強化に資する、**木造公共建築物、木材加工流通施設等の整備**等を支援します。その際、都道府県が策定する**森の国・木の街創造連携計画**に基づく先進的な取組等について、優先枠の設定等により重点的に支援します。

2．優良種苗生産推進対策
種穂の採取源の充実を図るとともに**コンテナ苗の生産技術・生産性の向上等**の取組を支援します。

3．森林の集積・集約化促進対策
森林の集積・集約化を促進するため、ノウハウの整理・分析や成果の発信、伴走支援等を実施します。

4．広葉樹利活用対策
国産広葉樹資源の付加価値の高い形での供給拡大に向け、広葉樹材の利活用促進に資する技術やノウハウについて情報収集・情報発信等を実施します。

＜事業の流れ＞

定額（1/2、1/3以内等）等

国 → 都道府県 → 林業経営体等（１の事業の一部）

国 → 定額、委託 → 民間団体等（市町村を含む）（１の事業の一部、２、３、４の事業）

※国有林においては、直轄で実施

＜事業イメージ＞

森林集約・循環利用対策交付金
○**循環型資源基盤整備強化対策**（路網整備・機能強化等、省力・低コスト再造林対策、コンテナ苗生産基盤施設等の整備）
○**木材需要拡大・木材産業基盤強化対策**（木材加工流通施設等の整備、木質バイオマス利用促進施設の整備 、特用林産振興施設等の整備、木造公共建築物等の整備）
○**先進的な林業機械等の導入**　○**森林集積・集約地域活動支援対策**　○**森林資源保全対策（森林病虫獣害対策、林野火災予防対策）**　○**林業の多様な経営体の確保・育成**

優良種苗生産推進対策
○種穂の採取源の充実、コンテナ苗の生産技術・生産性の向上等

森林の集積・集約化促進対策
○森林の集積・集約化の取組に対する伴走支援や成果の発信を実施

広葉樹利活用対策
○広葉樹材の需要調査やそれに応じた供給手法の整理など、国産広葉樹の利活用促進に向けた情報収集・情報発信等を実施

［お問い合わせ先］　林野庁計画課　（03-6744-2082）

【参考資料2】循環型資源基盤整備強化対策（拡充）【p2】

森林循環利用・付加価値創出対策のうち森林集約・循環利用対策交付金のうち

循環型資源基盤整備強化対策（拡充）

令和９年度予算概算要求額　18,551,807千円（前年度 9,227,997千円）の内数

＜対策のポイント＞
森林資源の循環利用や森林の集積・集約化を推進していくため、林業適地における路網整備、伐採後の再造林、再造林に向けた苗木生産等について支援。

＜事業の内容＞

＜支援内容＞（拡充内容は下線部）

○ 路網整備・機能強化等の推進
効率的な木材供給能力の強化のため、路網の開設や路網ネットワークの質の向上を図るための既設路網の機能強化、路網情報の共有に向けたデータ整備、これら路網の周辺森林において、将来の主伐を見据えた環境整備を図るための施業等に対して支援

○ 省力・低コスト再造林対策
造林作業のトータルコストを縮減する取組や大幅に省力化が図られる取組、必要な資機材の整備等に対して支援

○ コンテナ苗生産基盤施設等の整備
コンテナ苗の増産や生産性向上に必要な生産基盤の強化等を支援

※路網整備・機能強化等の推進及び省力・低コスト再造林対策については、森の国・木の街創造連携計画（仮称）に基づく取組に対して、優先枠の設定により支援

＜事業主体＞
都道府県、市町村、選定経営体（※）等
（※森林経営管理法第36条に基づく民間事業者 等）

＜事業の流れ＞

定額（1/2、2/3以内等）等　　定額（1/2、2/3以内等）等

国 → 都道府県 → 林業経営体等

定額

＜事業イメージ＞

【参考資料3】コンテナ苗生産基盤施設等の整備(拡充)【p3】

森林循環利用・付加価値創出対策のうち森林集約・循環利用対策交付金のうち循環型資源基盤整備強化対策のうち

コンテナ苗生産基盤施設等の整備（拡充）

令和９年度予算概算要求額　18,551,807千円（前年度 9,227,997千円）の内数

<対策のポイント>

再造林の確実な実施のため、再造林の省力・低コスト化に必要な**コンテナ苗の生産基盤の強化**とともに、増加する造林面積に確実に対応するための**苗木全体の安定的な生産・供給体制の整備に向けた対策**を支援します。

＜事業の内容＞（拡充内容は下線部）

1．コンテナ苗を生産する事業者を対象に、増産や生産性向上のためのコンテナ苗生産施設の整備、生産資材等を支援。

2．コンテナ苗用に種子配布又は幼苗生産を行う事業者を対象に、種子選別機等の幼苗生産の高度化施設装置の整備、生産資材の調達等を支援

3．安定的な生産体制を確保することに加えて、近年の天候不順や干害対策として、既存苗畑の灌水施設等の整備を支援

<事業主体>

林業種苗生産事業者等

<交付率>

定額（1/2以内）

<事業の流れ>

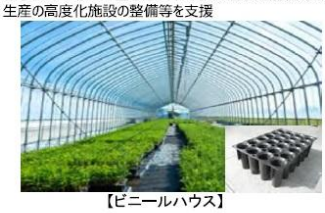
定額（1/2以内）　定額（1/2以内）

国 → 都道府県 → 民間事業者等

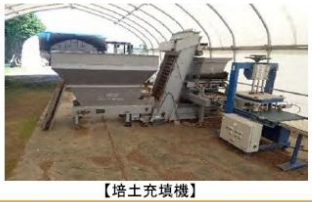
＜事業イメージ＞

➢ **コンテナ苗生産基盤の強化**

- コンテナ苗を増産する苗木生産事業者等に対し、ビニールハウス等の生産施設の整備、生産資材等を支援するとともに、生産性向上を目指す苗木生産事業者に対して、機械化等の施設の整備を支援
- 種子配布、幼苗生産を行う者に対し、種子選別機等の幼苗生産の高度化施設の整備等を支援



【ビニールハウス】



【培土充填機】

➢ **苗木全体の安定的な生産・供給体制の整備**

- 増加する造林面積に対応するため、既存苗畑の生産量維持が重要
- 近年の天候不順の多発化や、大規模な干害に備え灌水施設等の整備を支援

【干ばつ被害】

【灌水施設】

【参考資料４】優良種苗生産推進対策(拡充)【p4】

森林循環利用・付加価値創出対策のうち森林集約・循環利用対策のうち

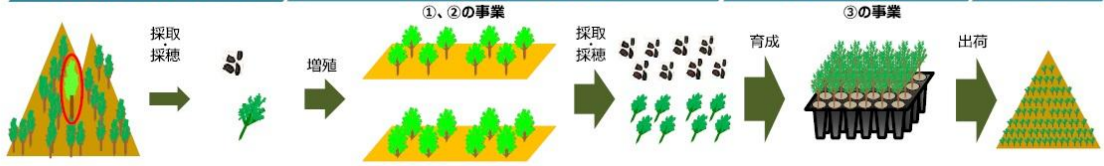
優良種苗生産推進対策（拡充）

令和９年度予算概算要求額　18,551,807千円（前年度 9,227,997千円）の内数

再造林の低コスト化に資する優良種苗の供給拡大を加速するため、種穂の採取源の充実を図るとともにコンテナ苗等の生産技術・生産性の向上の取組や外国人材の活用に向けた取組等を支援する。

苗木生産までの流れ

優良個体の種子・穂木の採取 ／ 採種園等の整備、種穂の採取（①、②の事業） ／ 山行苗木の生産（③の事業） ／ 造林



事業内容（拡充内容は下線部）

①指定採取源の拡大

穂木の供給不足に対応するための採取源の指定に必要なサンプル採取、遺伝子調査、品種の特定

②採種園等の有効活用　（国有林）

旧採種園等の園内整備や母樹の更新及び人工造林地を穂木の採取源として活用するための条件整備

③苗木生産技術・生産性の向上等

コンテナ苗生産に関する技術研修会、苗木被害の早期診断、生産性向上に向けた取組、外国人材の活用に向けた取組等

<事業の流れ>

国 → 定額 → 都道府県（①の事業）
国 → 定額 → 民間団体等（③の事業）

※　②は国有林において直轄で実施

［お問い合わせ先］　（①、③の事業）　整備課　(03-3502-8065)
（②の事業）　業務課　(03-6744-2325)

【参考資料 5】苗木生産技術・生産性の向上等【p5】

森林循環利用・付加価値創出対策のうち森林集約・循環利用対策のうち優良種苗生産推進対策のうち苗木生産技術・生産性の向上等のうち

（参考）外国人材の活用に向けた取組

＜拡充対策のポイント＞

○ 山村地域の人口減少や高齢化により苗木生産の現場では人手不足が進行。移植や出荷などの繁忙期における人手が不足。

○ 人手不足に対応するため、外国人材の活用が求められているが、苗木生産事業者に制度内容を普及するための支援が必要。

○ 繁忙期の異なる地域間における外国人材の活用等により、効率的な苗木生産を推進。

事業内容 ※下線部が拡充内容

① 苗木生産事業者における外国人材の活用促進

・苗木生産事業における外国人材活用の手引き等の作成

・外国人材活用に係る生産事業者向けの説明会の開催等

② 苗木分野における外国人材の活用基盤の整備

・繁忙期が異なる苗木生産事業者の生産スケジュールやニーズの整理など、全国の苗木生産事業者が、人手が必要な時期に効果的に外国人材を活用できるような基盤の整備

＜補助率＞

定額

＜事業主体＞

民間団体等

＜事業の流れ＞

国 →（定額）→ 民間団体等

支援イメージ

［お問い合わせ先］ 整備課（03-3502-8065）

【参考資料6】花粉の少ない森林への転換促進総合対策（新規）【p6】

花粉症解決に向けた総合対策のうち

花粉の少ない森林への転換促進総合対策（新規）

令和9年度予算概算要求額 7,086,998千円（前年度 35,280千円）

＜対策のポイント＞

「花粉症対策初期集中対応パッケージ」に基づく総合的な対策として、**スギ人工林の伐採・植替え等の加速化やスギ材の需要拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保、花粉の飛散量の予測、花粉の飛散防止を推進**します。

＜政策目標＞

スギ花粉の発生量の削減（令和２年度比 約２割削減［令和15年度まで］、５割削減［令和35年度まで］）

＜事業の内容＞

1．スギ人工林の伐採・植替え等の加速化

スギ人工林伐採重点区域における、伐採・植替えに寄与する**路網整備**や**伐採・植替えの一貫作業**、森林所有者への働きかけ支援による**森林の集約化**や、**花粉発生源対策に係る普及啓発等**を支援します。

2．スギ材の需要拡大

住宅分野におけるスギJAS構造材等の利用促進、スギ材の活用に向けた**技術開発**、**集成材工場や保管施設等の整備**、建築物等への**スギ材利用の機運の醸成**を支援します。

3．花粉の少ない苗木の生産拡大

官民を挙げた苗木増産体制の強化、**細胞増殖技術**を活用した**苗木大量増産技術**の開発、花粉の少ない苗木の**広域流通**等を支援します。

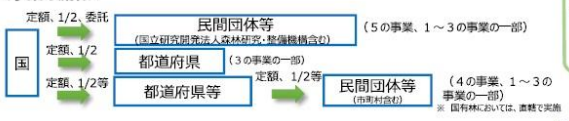
4．林業の生産性向上及び労働力の確保

意欲ある木材加工業者等に対する**先進的な林業機械等の導入**を支援します。

5．花粉飛散量の予測・飛散防止

花粉飛散予測に資する**スギ雄花の花芽調査**等や**森林資源情報の高度化**、**花粉の飛散防止剤**の実証試験・環境影響調査を支援し、社会実装を加速化します。

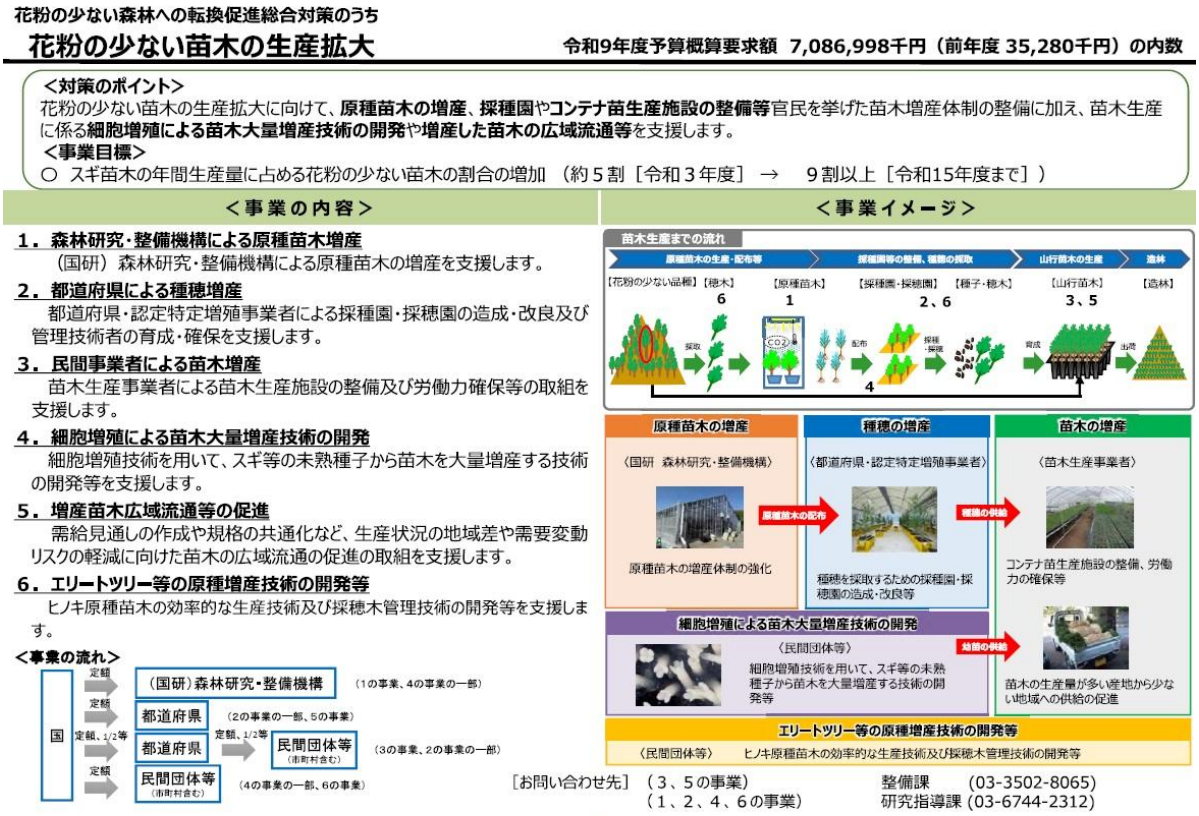
＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

［お問い合わせ先］ 林野庁森林利用課（03-3501-3845）

【参考資料 7】花粉の少ない苗木の生産拡大【p7】



全苗連・苗組の行事予定

9月3日	令和8年度第3回全苗連理事会(あきた芸術劇場ミルハス会議室)
9月 3～4 日	第10回全苗連生産者の集い(秋田市)
9月30日	関東地区特定母樹等普及促進会議現地検討会(森林総合研究所林木育種センター)
11 月5～6 日	中国地区林業用種苗需給連絡協議会(鳥取県米子コンベンションセンター)
11 月8日	全国育樹祭(和歌山県)
11月 17～18 日	北海道・東北地区林業用種苗需給連絡協議会(新潟県)
11月 19～20 日	九州地区林業用種苗需給連絡協議会(熊本県)
11月23日	農林水産祭(明治神宮会館)
11 月 26～27 日	東海・北陸地区林業用種苗及び緑化木需給連絡協議会(静岡県)
11 月 30～12 月 1 日	関東地区林業用種苗需給連絡協議会(茨城県)
12 月 3～4 日	近畿地区林業用種苗需給連絡協議会(京都府)
12 月 9～10 日	四国地区林業用種苗需給連絡協議会(愛媛県)